

## 助成事業実施報告書

団体名 NPO法人 はちふく・ねっと

代表者・役職名 氏名 理事長 小澤 邦博

### 1. 助成プロジェクト名

高齢者世帯の住環境見守りボランティア育成講座

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2007年、医療・福祉・建築の知識を問う福祉住環境コーディネーター試験に合格した人たちのフォローアップとその知識を活かして社会貢献のできる場を作るために勉強会を立ち上げたところ、八王子市福祉課から協働の提案があり2011年5月法人化に至りました。現在正会員21名

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

最近、身近なところで家庭内事故、特に転倒による事故の多さを耳にします。介護保険制度や手すりや段差について改善方法を知らない人も多くいます。各地で講座を開催してみると元気な高齢者が多く何か社会的な活動をしたいと考えている方もいて自治会などで地域の見守り活動を実施している所も確実に増えています。このような人達に住環境の知識を身に付けてもらい、その知識を地域の人々に役立てて欲しいと思います。さらに八王子だけでなく日野、立川方面にまでこのプロジェクトの活動範囲を広げたいと思います。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

高齢者(単身、夫婦世帯)が「家の中の不便さや危険について相談したいが、身近で気軽に相談できる人が見当たらない」という状況の改善に取り組めます。具体的には、高齢社会の住環境問題に関心のあるボランティア希望者に対して「家庭内事故の原因や予防法、及び介護保険制度や正しい改修方法等」についての講座を開催し、安心・安全な住まいについて近隣の高齢者に助言ができる住環境ボランティアを50名、サポーター50名、計100名の育成を目指しました。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「住まい見守り講座」については12回の開催で86名の方が参加されました。  
「住環境見守りボランティア育成講座」には47名の方が参加し今後の活躍が期待されます。  
当事業も3年目を迎え高齢者の住環境についての見守り活動が根付いてきたように感じます。この活動に合わせて高齢者から住宅改修相談も受ける機会が多くなり不慮の家庭内事故を減らすことに繋がっていると思います。  
見守り講座については地域のサロン活動で行う事も多く当事者(高齢者)への啓発が出来ました。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

高齢の方の多くは自宅で住み続けたいと思いつつも周囲への遠慮から老人ホームなどに入所される方もいますが適切な地域の支え合いがあれば在宅生活が可能なのは沢山います。「住環境見守りボランティア」がその都度、当人に適したアドバイスをする事ができれば家庭内事故を減らし健康寿命の延伸にも繋がると思いますので今後も「ボランティア育成講座」を随時開催して行きたいと考えています。現在のボランティアの皆さんには当会の専門家から福祉や建築についての新しい情報を提供して更なる活躍を期待しています。

### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり